

連携(ネットワーク)

自然史博物館の5項目にわたるミッションと中期目標の中には以下のような項目がある。

〔ミッション3〕

地域との連携を促進してより広範な市民との交流に努めます。

博物館活動のパートナーとなるNPOやアマチュアを大切にし、自然愛好家の層を厚くしていきます。

(中期的目標)

- ・学校・地域との連携事業など市民との交流をNPOと協働して進めます。
- ・アマチュア研究活動や、地域での自然体験活動を支援します。このために博物館も地域で実施する観察会を充実させます。
- ・地域の文化財行政・自然保護行政に積極的に貢献します。

〔ミッション4〕

他の機関との連携を進め、ノウハウの交流に努めます。

広域のネットワークや学術連携、協働でのプロモーションにより、より高度な博物館活動を目指します。

(中期的目標)

- ・西日本自然史系博物館ネットワークを中心とした他の博物館との連携・交流や共同事業を強めます。
- ・研究・教育において大学など高等教育機関との連携を進めます。
- ・大阪市の博物館群や長居植物園などとの連携を進めます。

いずれも、大阪市立自然史博物館が「地域の自然の情報拠点」として機能するために欠くことのできない項目であり、連携によって多様な相乗効果を生んでいくことを挙げるができる。

ミッション3に関連して、学校教育、地域、アマチュアとの連携の要になっているのが、大阪自然史センターとのパートナーシップである。自然史センターは関西自然保護機構と合流を果たし、自然科学的な面からの自然環境保全への取り組みを強めている。このため、関西各地で自然環境の保全や保護に取り組む団体などとの連携を強化した。学校教育面では今年度は大阪府高校生物教育研究会との自然史センター・博物館との連携を強化してきたところである。

西日本自然史系博物館ネットワークとの連携はGBIF 関連の自然誌情報発信事業を中心に、多様な展

開を見せている。

研究・教育においての大学など高等教育機関との連携については、既に各種団体との協力の事例については普及教育事業に、共同研究については調査研究事業に記されている。大阪市の博物館群・長居植物園との連携についてもミュージアムウィークスの開催をはじめとして、多様な展開を見せている。これらの各項目については以下に改めて記載する。

大阪府内の高校との連携

大阪府高校生物研究会および地学研究会と連携し、特別展の情報提供、ワークシートなど博物館を活用した教育用素材の提供、意見交換を行っている。2014年度の大阪府の高校の生物クラブ発表会を博物館で実施した。

西日本自然史系博物館ネットワーク

西日本自然史系博物館ネットワークは、学芸員同士の意見・知識・情報の交換、博物館運営の知識・情報の交換、研究者の育成・援助、広範囲での調査協力などを活動内容として、2004年に設立されたNPO法人である。会員も150名を越し、西日本の自然史系博物館の安定なネットワーク組織として活動している。

当館も中核となる加盟館として連携し以下のような共同事業をおこなった。自然系博物館における標本情報の発信に関する研究会、企業との共催による生物多様性協働フォーラムの開催、にじゅうまるプロジェクトパートナーズ会合、自然史標本救済に関するネットワーク運用、プラスチックネーション標本作成講座、のり付スチレンボードの活用講習会、100円ショップグッズ巡回展示、小さいとこサミット後援。2011年の東日本大震災に関しては、震災による被災文化財の救出、保存、再生を目指す活動について紹介する巡回展を行った。(2014.1.1～2014.12.31)

大阪生物多様性保全ネットワーク

大阪府・大阪市・堺市など行政と、大阪市立自然史博物館、大阪環境農林水産総合研究所など研究機関、大阪自然史センター、生物多様性かんさいなど市民ネットワークの協働事業として、NPO法人大阪自然史センターが事務局となり設立された。「新しい公共の場」として、教育機関・研究機関・NPO・行政・地域などの相互の連携をはかり、生物多様性の保全に向けた取り組みを行う組織である。2014年3月に「大阪府レッドリスト2014」を発行したことを受け、今年度は普及啓発イベントの企画・運営や情報発信などに重点を置いた。2015年3月には関西自然保護機構大

会においてシンポジウム「つくるレッドリストでなくつかうレッドリストへーレッドリストを生物多様性保全ツールとして活用するためにー」を開催（参加者121名）また生物多様性協働フォーラム、大阪自然史フェスティバルなどに協賛、出展するなどの活動を行った。

大阪市立大学博学連携講座

今年度は人文科学系のテーマとなったため、当館への要請はなかった。

大阪の博物館群など

■ミュージアムウィークス大阪2014ー大坂の陣400年

大阪市の博物館施設が協働で行っている広報キャンペーン。今年度は大阪城天守閣が展開する「大阪の陣400年」にちなみ、各博物館が関連する話題を展示した。当館では豊富時代の石垣の石材と上町台地に残るヤダケについての展示をエントランス部分に行った。

■教員のための博物館の日in大阪歴史博物館

今年度は国際博物館の日シンポジウムを開催せず、教員のための博物館の日を当館以外ではじめて大阪歴史博物館にて連携事業の一環として開催した。大阪市立自然史博物館からは、脊椎動物の体の作りに関する大阪市立喜連東小学校 工藤健司教諭の実践の紹介と、「ボーリング標本」の教材利用など、各種教育用貸出キットや支援プログラムの紹介をブース展示として行った。